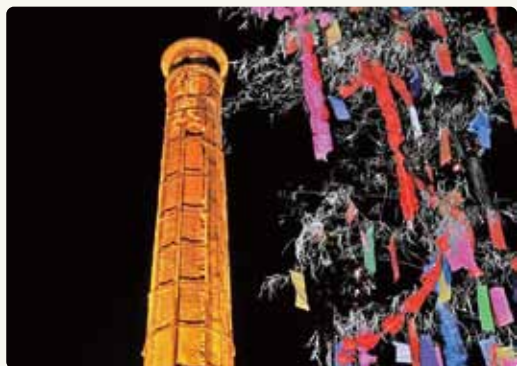




歴史あるれんがの煙突をライトアップして 新たな観光スポットに



**NPO
法人** 深谷にぎわい工房
(深谷市)

企業 深谷商工会議所
(深谷市)

深谷市には、東京駅などと同じ日本煉瓦製造（株）製のレンガで作られた煙突3本が街中の造り酒屋に残っている。歴史的資産を市民のみならず市外の人にもアピールするため、NPO法人と商工会議所は七夕祭り60周年に合わせて煙突をライトアップし、その様子を撮影して応募する写真コンテストを開催するなどの観光振興を行っている。

協働のきっかけ

NPO法人は、煙突のライトアップ企画を3年ほど温め続け、2009年に市へ助成金の申請を試みたが実現しなかった。しかし、NPO法人の話を聞いた商工会議所職員が企画に賛同して、ライトアップが実現した。煙突を多くの人に見てもらいたいと「深谷街なか れんが煙突デジフォトコンテスト」を同時開催。

商工会議所は開催費用の負担のほか、ライトアップや運営などの現場を、NPO法人はデジフォトコンテストの展示、運営を担当した。



文化財保護 観光振興

協働のメリット

**NPO
法人**

商工会議所がライトアップ経費を負担してくれたため、費用面の心配がなくなった。

また、古い煙突を壊そうと考えていた所有者が、これをきっかけに、自前で費用を捻出してでも改修しようと考えてくれるようになった。



フォトコンテスト

企業

煙突を撮影に来る人、展示会に訪れる人で市内の商業が潤う企画になった。コンテストには質の高い作品が87点集まった。応募者の8割は市内の人だったが、栃木県からの応募もあった。

今回のイベントは、商工会議所がTMO(タウン・マネジメント組織)として担当している、深谷市「中心市街地活性化基本計画」の商業等活性化策の一つにもなった。

苦労・工夫したこと

**NPO
法人**

日本建築学会関東支部が主催する「埼玉住まい・まちづくり交流展2010-映像・記憶に残るまちを語る-」でコンテスト作品の展示を行い、会場投票で特別賞を決めるなどの工夫をした。

企業

埼玉工業大学が運営する深谷の地域情報検索サイト「深谷Net」などを通じて、NPO法人とは以前から日常的に付き合いがある。様々な取組を協働する中で、十分な意思疎通が図れるようになった。